

広報紙配布部数 (令和3年3月現在)

西大路町	730部	池尻町	1,630部
東大路町	55部	花ヶ丘町	200部
大	1,150部	松ヶ丘町	170部
レックスガーデン	210部	緑ヶ丘町	230部
紅葉ヶ丘町	400部	桃ヶ丘町	60部
五月ヶ丘町	120部	箕ヶ丘町	970部
池尻さくら町	65部	新小松里町	165部
額原町	1,000部	下池田町	940部
小松里町	790部	下池田東町	400部
額	1,000部		(順不同)

全八木地区みんなの広報紙



第 34 号

令和3年3月1日発行

発行所 八木地区市民協議会
発行者 河 畑 守
連絡先 市立八木市民センター
☎443-6848

八木地区市民協議会活動報告

コロナ禍の下で



会長 河畑 守

令和2年度八木地区(八木・八木南・八木北の三校区合同)市民協議会会長を仰せつかりました下池田町の河畑守でございます。宜しくお願い致します。

本年度は新型コロナウイルスの感染拡大に明け暮れた年でございます。世界的に見ましてもこのような感染は予想もされな

福祉部会活動報告



福祉部会長 河畑 嘉七

令和2年9月5日(土)八木市民センターに於いて、48名の参加の下、八木三校区ボランティア研修会が開催されました。

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、収容制限があり最大50

い、今まで類を見ない感染状況でございます。各町会・自治会におかれましては、協議も含め、人が集まる行事は実施が困難であったことと苦勞を推察致します。

地域での最大の行事であります祭礼も密を避ける事、ソーシャルディスタンスを保つ事は困難であり、健康面を考えますと「中止」せざるを得ない事となりました。

当協議会の祭礼関連行事も同様の理由で中止せざるを得なくなりました。例年お祭りが過ぎると近隣では、「ソーリヤ、ソーリヤ」という子ども達の元気な声が園庭から聞こえておりました。今年度はそれも無く、寂しい限りでございます。

このような環境の中では

ありました。八木地区市民協議会各部会におきましては、実施に向け苦慮致しましたが、9月には青少年部会が「こういう状況下で何か出来ることはないか」と討議し、久米田中学校に對しクラスごとに消毒液の設置寄贈を行いました。

同じく9月には福祉部会が「住み慣れた地域で、安心して自分らしく暮らしていくために」とのテーマで研修会を開催いたしました。

そして、10月には文化体育部会が、「楽しく脳トレ筋トレ楽トレ」をテーマに、赤阪由合香講師のご指導のもと、楽しくトレーニングを行いました。

なお、11月には、岸和田市図書館友の会、市立図書館、池尻町会と共催で「久米田寺の歴史と文化財」をテーマに久米田寺 明王院上田住職の講演会を開催いたしました。

いづれも、3密を避け、検温、手の消毒、マスクの着用、ソーシャルディスタンスの確保と出来る限りの対策を行い不本意ではあります。限られた参加人数で実施致しました。

なお、本年度は「特別な年」になってしまいました。が、新年度は「いつもの年」になりますよう、新型コロナウイルスが一刻も早く終息することを願っております。最後になりますが、今後ともご支援ご協力賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

(2020年12月3日)

公開講演会……

「久米田寺の歴史と文化財」報告



広報部会長 杉原 富人

2020年11月26日(木)14時~16時、八木市民センターにおいて、上田尚道師(久米田寺明王院住職)を講師にお招きし、表記のテーマで公開講演会を実施しました。岸和田市図書館友の

会、池尻町会、岸和田市立図書館との共催で実施しましたので、この概要を報告します。

大阪府の指定文化財であった「久米田寺文書(百十六通)十七巻」が2020年3月19日から国重要文化財に指定されました。これを機会にして講演会を企画しました。

新型コロナウイルス第3波襲来の下でしたが、感染防止の対策をして実施しました。テレビ岸和田の協力を得て、モニター中継での第2会場も含めて、69名がご出席でした。



配布資料に基づき、久米田寺の歴史を「開創と久米田池」、「荒廃と再興」、「南北朝から室町時代」および「江戸時代以降の再建」に沿って説明され、各時期の久米田寺に関連のあった主要人物(開創の僧)行基、聖武天皇と光明皇后、(久米田寺中興の祖)北条時頼の御内人)安東蓮聖、(中興開山の律宗の僧)頭尊上人、(華嚴宗の僧)明恵上人、(律宗の僧)鑑真和上、(利生塔寄進と仏舍利奉納)足利直

義他」の「痕跡」を詳しく紹介されました。この中、古文書以外の肖像画・仏像に於いて、久米田寺に所された経緯にも触れられました。これらの文化財の修復は、江戸時代に大町人であった奈良屋弥兵衛(山辺雅郷)により、未修復の文化財の修復事を困難を乗り越えて遂行とのことです。

現在、岸和田市内には指定重要文化財が11点存しますが、そのうち7点久米田寺所蔵であることが驚きました。このことは久米田寺が(鎌倉時代)東蓮聖による再興以降「華嚴・律・真言の兼学道場」として、当時、和泉の国とどまらない寺院であったことを確認できました。

また、京都国立博物館開催予定の「凝然国師没後700年別展 鑑真和上と戒律のゆみ」

2021年3月27日~5月16日に久米田寺所蔵の鑑和上像他が展示されることも紹介されました。ご講演のあと、25分間にわたる出席者との活発な質疑応答が交わされました。

最後に、当日の収録内は、テレビ岸和田により021年1月16日(土)16時30分(以後毎週曜日)に12チャンネルで送られます。

(2020年12月30日)

コロナ禍の下での小・中学校の活動報告

久米田中学校



校長 佐々木 隆

新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、「緊急事態宣言」を受けた対応による、長期の学校休業が明けた6月15日、ようやく通常授業が再開されました。

しかし、感染防止の基本となるマスク着用や手洗い、3密を避けるなど、感染防止対策の徹底を図った上で、「新しい生活様式」に基づく教育活動が示され、これまで以上に「命を守る」大切さを学びました。

制約の多い教育活動の中、子どもたちには、「厳しい現実の中、諦めたり、できなかったことを悔やむより、今しか学べないことを大切に、今という時を、精一杯生きてほしい。」感染が広がっている状況の中、仲間に対して、心無い発言で傷つけることのないよう、冷静な判断と行動を心がけること。皆が思いやりの心を持ち、共に助け合い、支え合える、そんな安心できる学校にしよう。」と伝えました。

予測困難な時代を生き抜くためにも、「自分で考え、判断し、行動できる」そんなたくましい生徒の育成を目指し頑張り続けてまいります。また、「学びの保障」の取組みとして、7時間授業、土曜授業、行事の精選、長期休業の短縮等、授業時数の確保と学習内容の充実を図ってきました。再開当初は、楽しみにあつた行事が延期や中止に

なり、部活動も大会や発表がなくなり、思っていたようにできなかった行事関係や部活動も、二学期に入り徐々に再開され、学年別の体育祭、延期になっていた修学旅行も規模を縮小して実施、今後は合唱コンクールを行う予定です。

三学期には、ICT機器を活用した学習環境を充実させるための「GIGAスクール構想」の実現に向けた教育環境が整うこととなっています。

現在も世界的な蔓延が続いており、終息の兆しはまだ見られませんが、一刻も早く子どもたちが安心して学べる正常な教育活動ができることを願っています。

(2020年12月1日)



八木小学校・園



校長 長岡 英晃

令和2年3月より5月まで3か月の間、学校園は、今まで経験したことのない臨時休業となりました。地域の皆様には、このような新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「新しい生活様式」が示される中、本校園の教育活動にご理解ご支援いただいていたま

すことに深く感謝申し上げます。

本校園でも、子どもたちの心と体のケアを最優先に、今年度の教育活動について検討してまいりました。

今こそ、本校園の教育が大切にしてきたものを確認するとともに自分や仲間の「存在する価値」を再認識し、お互いのより良い「生き方」をめざした取り組みを行っていくことが重要だと思えます。どうぞよろしくお願いいたします。

さて、今年度の取り組みを紹介いたします。学びの保障を進めることはもちろんのこと、学齢期の子どものために、必要不可欠である学校園行事を、できる限りのコロナ対策を講じつつ進めています。

それぞれの行事ごとに手洗いの徹底、手指の消毒、3密を避けるための場の設定、保護者・地域の方の入場制限等を行っております。おかげさまで学習参観・臨海学校・修学旅行・遠足・運動会・音楽会など大切な教育活動が無事終了しています。これも地域の皆様方の多くのご理解ご支援があるからだ改めて感謝申し上げます。

地域の宝である子ども達、仲間とともに様々なことにチャレンジし、成長できるように努めています。

地域の子



温かく見守っていきたいと思います。今後とも、どうぞご理解、ご協力頂きますようお願いいたします。

(2020年12月3日)



八木北小学校・園



校長 福原 吉彦

日頃は本校・園の教育活動にご理解とご協力を頂きありがとうございます。この紙面をお借りいたしまして御礼申し上げます。

さて、令和2年が始まって早1年が過ぎようとしています。令和2年は新型コロナウイルス感染症によって、世界中が一変しました。学校園でも、3月からの臨時休業が5月末までおよび、全学年がそろって教育活動が再開できたのも6月の半ばからになるという経験したことがない状況でした。その中でも、児童園児は朝から検温してきたものを提出し、マスクをし、教職員も感染症やいろいろなことに配慮しながら教育活動を行ってきました。

学校行事については、3月には、ぶっつけ本番の卒業式・

卒園式を行いました。4月には入学式も同様な形で行いました。1学期は、昨年度の授業の積み残しに配慮しつつ授業時数を確保しつつ、感染症予防のため多くの学校行事の延期や中止を余儀なくされました。しかしながら学校園には、子どもたちの笑い声や熱気が戻ってきました。

そして2週間の短い夏休みが終わり、2学期に入り、9月には授業参観を行いました。たくさん保護者に参観して頂くことができました。10月に入り、運動会の練習が始まりました。今年度は、種目を走競技と団体演技に絞って行うことにしました。

1・3・5年生と幼稚園、2・4・6年生とに分けて、2部制で行い時間短縮を行いました。しかしながら、どの学年もしっかりと走り、団体演技もどの学年も工夫を凝らしたものにしました。

そして、1年生から5年生、幼稚園とも遠足に行きました。1・2年生は中央公園、3年生は久米田公園、4年生は蜻蛉池公園、5年生は奈良へ行き、子どもたちはとても楽しかったようです。

6年生は広島へ修学旅行に泊で行くことができました。平和学習も行い、姫路セントラルパークではいい思い出ができたようです。

また、11月末には校内音楽会を行いました。飛沫防止の観点から合奏のみとなりましたが、各学年ともしっかりとした演奏ができました。

今年度は、1にも2にも感染防止が重要な課題となりましたが、それらに気をつけて学校行事を行ってきました。そして3月には6年生の最大の行事である卒業式が行われます。これに向けて学校全体で出来ることを最大限に考え

て取り組んで参ります。八木北小学校を巣立つ6年生がこれからの世界で活躍すること祈っています。

(2020年12月15日)

八木南学校・園

コロナ禍の下での八木南小学校の日常



校長 谷 早苗

平素は、本校園教育活動に多大なるご支援ご協力を賜り、ありがとうございます。

今、学校の一日は、「おはようございます。体温測ってますか?」と、校門での体温チェックが始まります。毎日、ご家庭で検温しチェックカードに記入してきてもらうのですが、中にはすっかり忘れてくる児童もいます。そんな子のために検温所を設置して、教室に入る前に検温します。教員だけでは手が足りないで、PTAの方やスクールサポートスタッフに手伝ってもらっています。教室でチェックカードを回収して体調をチェックし、それからやと勉強です。

臨時休業で抜けた授業時間の確保のため、1時間目の前に毎日10分間のゼロ時間目をして、文字や漢字の学習などを行っています。その後続けて一時間目の学習です。

休み時間には、運動場で元気に遊んでいます。チャイムが鳴る二分前に「手洗いブギ(ゆず)」が流れ、一斉に手洗いタイムです。一番神経を使うのが給食で

す。「手の消毒」前を向い食べる「しゃべらない」などのルールに加え、おかわりお減らしのルールも変更しました。

また、基礎学習の定着のため、毎日していたそうじを火曜日と木曜日にだけにし、月・水・金は放課後に補習をしています。

子どもたちのおそうじを補うため、PTAの方が校内清掃も行ってくれています。

子どもたちが下校した後、教職員で教室、児童の机、イレ、ドッジボールなどを消毒し、一日が終わります。

先日、冬を迎え感染拡大防止のため、そして寒さや乾燥対策も兼ねて、各教室に加湿器付きの空気清浄機を設置しました。早く収束して、早く帰りたいと思えることを願い、感染拡大防止に努めていきたいと思っています。

ので、今後も地域の皆様、保護者の皆様のご理解、ご協をお願致します。

(2020年12月18日)



編集後記

第34号「いきいき八木」を行くにあたり、お忙しい中にもかかわらず、原稿をお寄せいただいた皆様に厚くお礼を申し上げます。

今号は「コロナ禍の下での団体の活動」特集になりましたが、多くの八木地区の方々に読んでいただけることを願っています。

広報部会長 杉原 富